

平成28年度 上田市立菅平小・中学校  
学校自己評価の分析と考察 <後期>

※評定のA、B、C、Dは、「かなりできている（かなりそう思う）」・「どちらかという、できている（どちらかという、そう思う）」・「どちらかという、できていない（どちらかという、そう思わない）」・「ほとんどできていない（ほとんど思わない）」に、それぞれ対応しています。

【教育活動】…児童・生徒へのアンケート結果より

§ 1 生徒指導

① <発見と啓発> 相手の良さに気づき、伝えているか。

(小・中) 小学校中学校ともにA・Bの回答を合わせると90%近くになっている。前期同様、多くの児童生徒が、相手の良さに気づき、認めていこうとする姿がうかがえる。中学校でAの回答の割合が小学校に比べると低い。

② <相手意識のある挨拶> コミュニケーション能力を高めているか。

(小) 今回のアンケートでもA・Bの回答の合計は90%を越え、前期と同じ高い数値となった。

(中) A・Bの合計は、前期に比べると16ポイント低くなった。Aの回答は増えているが、Cの回答も増えている。元気に挨拶をする生徒と、挨拶が苦手な生徒が前期よりはっきりしているようだ。

<「§ 1 生徒指導」について>

友だちの良さに気づき、伝えるという点では、中学校より小学校の方が積極的ではありますが、小中共に良い結果が得られています。これからも、互いの良さを認め合い、ともに育ちあう人間関係を築くことができる活動を継続していきたいと思えます。

挨拶については、良い仲間作りの第一歩として、引き続き全校で大切にしていきます。小学校では児童会による挨拶運動や、登下校の際、職員室の先生方に大きな声で挨拶していくという良き伝統を続け、中学校では、部活動を通して挨拶の大切さを実感できるような指導を心がけ、挨拶がよくなる菅平小中学校を目指します。

§ 2 学習活動

③ <学習の約束> 学習習慣の定着は図られているか。

(小) A・B合わせて98%である。特に、Aと回答した児童が6割近くに達している。復習や宿題については、家庭できちんと取り組んでいる様子が分かる。

(中) A・B合わせた回答の割合は増えているが、Aの回答は減っている。宿題を含めた家庭学習に多くの生徒が取り組んでいるが、より積極的に取り組ませたい。C・Dと回答した生徒へは、引き続き個別の指導が必要である。

④ <学力定着> 小・中学校の先生が連携して授業を行っているか。

(小・中) 前期アンケート結果と同様に、どの教師の授業も一生懸命取り組みたいという姿勢が見られるが、小学校で、C・Dと回答した児童もいる。小学校と中学校の教師が、それぞれの専門性を活かして、相互に乗り入れて効果的に授業を行うことで、学力の定着と向上を図りたい。

⑤ <授業改善> 分かりやすい授業になっているか。

(小) A・Bの回答を合わせると、96%である。Aの回答は、8割近くになっている。ほとんどの児童が授業の楽しさを味わうことができているが、C・Dの回答もある。

(中) 中学校でも、A・Bの回答を合わせると96%であり、概ね良好であるが、前期アンケートと比較してみると、Aの回答の割合が低くなり、Cの回答もある。授業改善の努力を継続していかなければならない。

<「§2 学習活動」について>

小学校では、一生懸命家庭での学習に取り組んでいる児童が多いようです。これからも、学習の成果を認め励まし、進んで家庭でも学習に取り組めるよう支えていきたいと思えます。中学校でも、約8割の生徒が、宿題等の家庭学習によく取り組めていますが、さらに積極的に取り組み、家庭学習の質を高めていくような指導が必要です。また、あまり家庭学習に取り組めていない生徒に対しては、学習内容を具体的に示すなどして、個別に対応していくことも必要です。

授業改善については、小学校・中学校共に、これからも重要な課題として力を入れていきます。どの子にとっても、「分かる楽しい」授業を目指していきます。また、子どもたちが主体的に学び、知識だけではなく、創造力や判断力、思考力などを伸ばす授業作りについても研究を進めていきます。

### §3 キャリア教育

⑥ <地域との交流> この地での生活に喜びを感じているか。

(小・中) Aと回答した児童生徒は、小学校で9割を超えている。中学校でもA・Bの回答を合わせると8割を超え、小学校・中学校共に、多くの児童生徒が菅平での生活に満足している様子がうかがえる。しかし、小学校では、前期のアンケートでは見られなかったCの回答があり、中学校でもCの回答の割合が増えている

⑦ <地域を知る> 地域の産業を理解しているか。

(小・中) 小学校では、前期アンケートの結果と比べると、Aと回答した児童の割合が増えた。農業体験活動を通して地域の理解が進んだのではないかと。中学校は、前期の結果とほぼ同じ傾向である。

<「§3 キャリア教育」について>

今まで大切にしてきた農業体験活動やスキー活動を通じた地域理解に加え、地域講師などを招いた授業などを行うことで、菅平についてより良く理解することができるのではないかと。自分たちが生活する地域に対する理解が深まれば、菅平の良さをさらに実感し、郷土を愛する心がますます育つと考えます。徐々に動き出している信州型コミュニティスクール「TEAM SUGADAIRA」を効果的に運用していきたいと思えます。

#### 【学校運営・学校作り】…保護者、教師へのアンケート結果より

① 子どもの良さを見つけること

(小) 保護者から見た教師の評価では、C・Dの回答がない。学校で生き生きと学び活躍する子どもたちの良さが、家庭にもよく伝わっている。

(中) 保護者から見た教師の評価では、A・Bの回答を合わせると96%である。中学校でも、教師が見つけた子どもたちの良さが保護者によく伝わっている。しかし、Aの回答の割合が小学校に比べると低く、Cの回答もある。前期アンケートの結果同様に、学校での子ども達の良さや頑張り、小学校より保護者に伝わりにくいという状況が見えてくる。

(小・中) 教師の自己評価では、C・Dの回答はないが、Bの回答に比べるとAの回答の割合が低くなっている。子どもたちの良さをたくさん見つけ、より積極的に伝えて行きたい。

② 優しく、厳しく子どもを導くこと

(小・中) 保護者から見た教師の評価・教師の自己評価では、後期アンケートでも小学校・中学校共にC・Dの回答はない。職員の自己評価でもC・Dの回答がなく、けじめをつけて子どもたちと接し、子どもたちの心を受けとめながら、毅然とした態度で指導する教師の姿がうかがえる。

③ 楽しく分かる授業を創造すること

(小) 保護者から見た教師の評価・教師の自己評価では、C・Dの回答がなく、たいへん良好である。

(中) 中学校でも、保護者から見た教師の評価ではA・Bの回答を合わせると9割を超えおり、概ね良好である。しかし、Aの割合が前期に比べると低くなりCの回答もあるので、やはり、どの子にとっても「分かる楽しい授業」になるよう、努力を重ねていく必要がある。

(小・中) 保護者の家庭学習への関わりについては、後期アンケートでも小学校・中学校共にA・Bの回答が全体の8割～9割に達している。各家庭の学力向上に対する期待の大きさが分かる。

#### ④ 地域と連携すること

- (小・中) 学校・保護者・地域が協働しながら、子どもたちを育てていこうとする姿勢があらわれている。保護者の自己評価において、前期アンケート同様に小学校・中学校共にA・Bの回答を合わせると9割を超えている。年間を通して保護者の方々が進んで学校教育に協力してくださっていることがよく分かる。

##### <「学校運営・学校作り」について>

- これからも学級通信や学校だより、個別懇談などを通して、その子の良さや頑張る姿を適切に保護者の皆様にも伝えていきたいと思えます。学校と家庭とが共に子どもたちの良いところをたくさん見つけ、その子を励まし、育てていきたいと願っています。
- 温かく子どもたちを見守りながらも、規律ある学校生活やけじめある行動がとれるよう、厳しく指導する場面では厳しく指導していきます。そのような指導を通して、正しく判断し、行動する力を伸ばしたいと考えます。教師からの一方的な指導だけではなく、子どもたちが自ら考え、改善していくような支援も大切にします。
- 授業の中で子どもたち一人一人が、学ぶ楽しさを充分味わうことができるような授業を通して、子どもたちに確かな学力を身につけさせたいと思えます。また、家庭学習のやり方や内容などについて、家庭にも知らせ、学校と家庭が協力して子どもたちの学力向上を目指していくことも大切ではないかと思えます。
- 保護者や地域の皆様に支えられ、学校教育が充実し向上しています。保護者・地域・学校との連携を大切にし、より深めていけるよう努めていきます。
- 保護者から見た教師への評価については、後期アンケートでも、すべての項目で、A・Bの回答を合わせると90%を超え、概ね良い評価をいただきました。今後も、子どもたち一人一人をしっかりと見て、その子の良さを伸ばし、その子の個性が輝き、保護者や地域に信頼される学校作りに励んでいきます。Cの評価をいただいた項目については、日頃の取り組みを見直し、特に力を入れて改善していきたいと思えます。

#### 【その他】

- 学校生活のたのしさ…児童・生徒、保護者、教師へのアンケート結果より  
(小) 児童・保護者ともに概ね良好であるが、Dと回答した児童には、手厚い支援が必要である。  
(中) 前期アンケートに引き続き、CとDの回答がない。多くの生徒が、一年間、元気に楽しく学校生活を送ることができた。

##### <「その他」について>

ほとんどの児童生徒が、学校生活が楽しいと感じているというのは、たいへん素晴らしいことだと思います。しかし、わずかではありますが、学校生活にあまり楽しさを感じていない児童もいます。一人一人の児童生徒を大切に、すべての子どもたちが、毎日、「学校へ行くのが楽しみだ」と思えるような、魅力ある菅平小中学校であるために、職員全体で日々努力を重ねていきます。

なお、同時にとりました<いじめ>に関するアンケートでは、若干ではありますが、児童生徒から「いじめがあった」という回答がありました。担任を通して聞き取りを行ったところ、遊びの中でのふざけ合いや、友だち同士のけんかなどでした。「本人がいじめであると感じたら、それはいじめである」という認識のもと、互いに人権を尊重し合いながら、どのように関わるべきなのか、発達段階に応じて指導していきます。体罰・暴言に関しては、小学校・中学校ともに「なかった」という結果でした。今後も学校全体で、体罰・暴言がないよう取り組んでいきます。

- 「学校への要望・お気づきの点」(自由記述)について

より良い学校にするために、様々なご意見をいただきました。我々学校職員の励みになる言葉もいただき、たいへん嬉しく思います。また、日ごろの子どもたちの様子で、気になることについてもお知らせいただきました。子どもたちの様子を丁寧に見て、どの子も安心して学校生活を送れるよう、十分に配慮していきます。お寄せいただいたご意見ご要望につきましては、これからの学校作りに活かしていきたいと思えます。